

TTC スペクトル管理 SWG 寄書

日付：2006年2月3日

提出元：ソフトバンクBB株式会社

題名：G.993.2 Annex C から G.992.1 Annex I の干渉計算の再クロスチェック結果について

1. 概要

前回合算弊社提出寄書 SMS -30 -SBB -06 において、弊社が FTTR 形態で導入を予定している G.993.2 Annex C (VDSL2 building Type above TCM -ISDN DSL band) システムから G.992.1 Annex I DBM (FDM) への干渉計算を提出した。これに対し NTT 東殿の計算結果と多少の差分のある旨の指摘を受けたため、NTT 東日本殿の協力のもと再計算を実施した。その結果を以下に示す。

2. 結果

両者の計算結果は、4 箇所において 32kbps の差があるのを除いて、計算結果が一致している。よって、この結果から弊社再計算結果に問題無いと考える。

参考までに、各 L 値における最悪速度、ISDN を干渉源として含んだ G992.1 Annex I 保護基準値 (仮称)、ISDN を干渉源として含まない G992.1 Annex I 保護基準値 (仮称)、VDSL 側に DPBO^(注1) を利用した際の速度を比較したグラフを示す。

(全ての計算結果を、本寄書付録に示す)

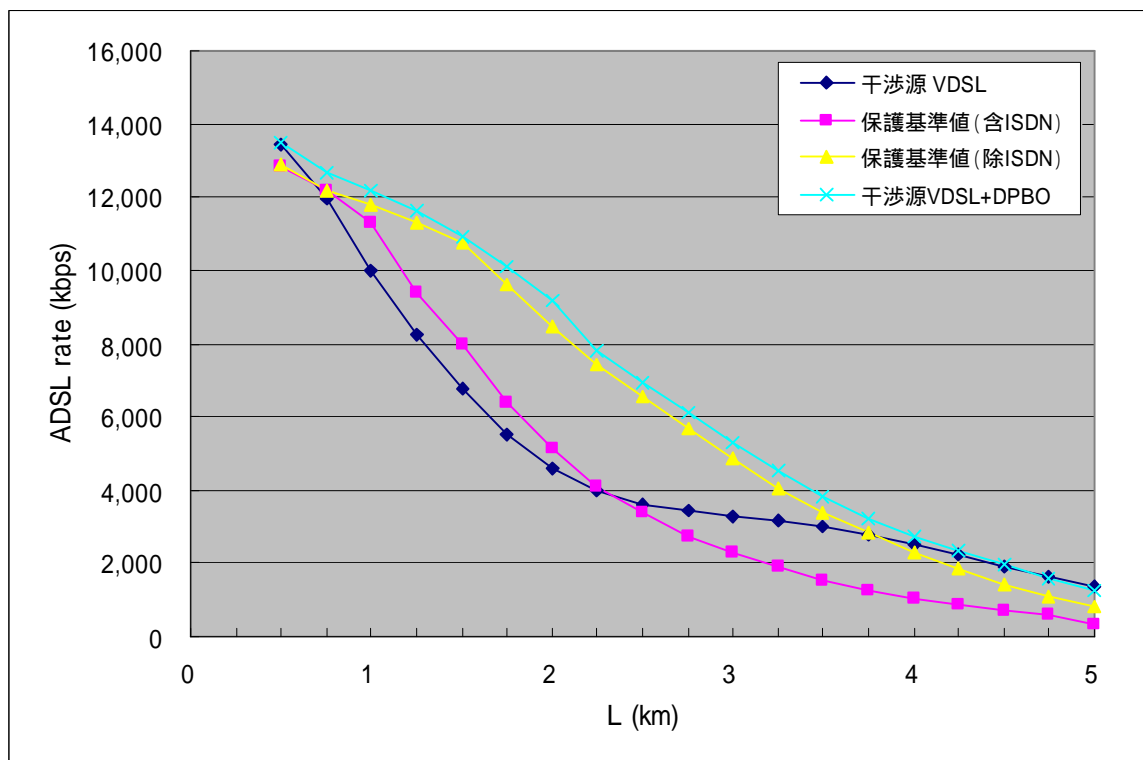


図1 G.993.2 Annex C から G.992.1 Annex I への干渉計算結果

(注¹) DPBO の方式としては、下記文献の方式を適用。

Conexant Systems Inc, “Cabinet PSD Shaping, Based on the Virtual Exchange Reference Impact (VERI) Index, for DSM”, NIPP-NAI-2005-055, San Francisco, February 21-24 2005.

以 上